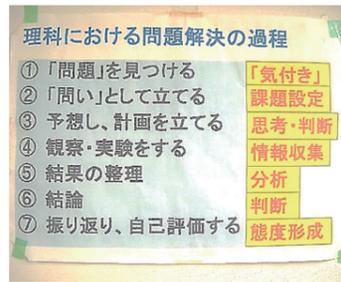


『理科大好き』片地小

片地小は生活科と理科の研究授業を全学年が行います。講師として高知大の先生や県下のコア・サイエンス・ティーチャーが来校し、熱心に研修をします。理科には、問題解決の『型』があり、大人になって、いろいろな問題にぶつかり、それを解決するときに、その『型』が役立ちます。

全学年で生活科・理科の研究授業



▲理科の授業の教材

将来のノーベル賞受賞者が育つかも
コミュニティ・スクールの片地小は、県下の理科教育のリーダーとなるコア・サイエンス・ティーチャーが配置された拠点校です。そして、理科教育を通じて『探究心』のある子どもに育っています。



▲親子理科教室(R元年度)

理科参観日
親子理科教室
秋には理科参観日があり、1・2年生は生活科の授業、3年生以上は理科の授業をします。教員は、子どもたちが楽しめるよう工夫した授業を行い、また、保護者とともに科学を楽しんでもらえるよう親子理科教室も行います。工科大や高専の先生と実験を楽しむことができます。



▲6年生理科研究授業(R3年度)



5年生理科研究授業(R3年度)
タブレットを使って台風の進路を予測する



▲農園に野菜いっぱい(R3年度)

▼釣りクラブ(R3年度)

理科好きの子どもを育てる
この他にも、片地小周辺に度々出かけて、季節ごとの生き物を探したり、片地川で取った生き物を飼育したりしています。冬には星座観測も行います。

毎日 ワクワク・ドキドキ 片地保育園



片地保育園は、田畑が広がるみどり豊かな場所にあり、0歳～5歳（1～2歳、4～5歳児は、混合保育）の元気な52名の子ども達が生活しています。春には、園舎西側の畑にすみれ組（5歳）が、カボチャ・スイカ・パプリカ・キュウリ・ピーマンを植えました。毎朝水やりをしながらいろいろな虫を発見し「ダンゴ虫やー」「ミミズもある」と虫さがしに夢中、虫かごやおもちゃのお茶碗に入れて飼育しています。野菜も日に日に大きく成長し、その大きさに子ども達は、びっくり!! ひまわり組(4歳)、もも組(3歳)を呼んできて、かわりばんこに収穫を楽しんでいます。収穫した野菜は、給食室に持っていきお昼ご飯の一品に。収穫したものがすぐ食べられる貴重な体験をしています。また、その日のメニューは玄関にも展示するようにしています。田んぼにオタマジャクシをとりに出かけたり、片地小学校へお散歩に出かけ、休み時間に1年生と一緒に遊んだりしています。夏には、色水あそびやししゃぼん玉、大好きなプールあそびなどを思いっきり使っています。



◆研究主題 自らうごき、ねばり強く、地域とともにのびゆく子どもを育てる
～「!」「?」「チャレンジ」いっぱい本気で語る～

地域が大好き!地域から出発、環境学習!香長小

香長小学校では、地域の自然や人と関わり、体験し、感じることを通して自ら課題を見だし、追求することを大切に環境学習に取り組んでいます。



2015年度に国連が採択した『SDGs：持続可能な開発目標』に向けて、今、自分は何ができるか、自分の事として考えよう!と全学年で学習を進めています。



4年生の取組を紹介 みんなの宝 新改川!



◆新改川を知ろう!
昔の新改川について地域の方から教えていただきました。「昔は、みんなよく川で泳いでいた!魚もたくさんいて、魚を獲る道具も自分たちで作ったよ!」



◆新改川に魚はいる?
実際に新改川上流に行って調べてみると、魚がたくさんいました。でも、昔より種類も数もぐんと減っていることも分かりました。



◆新改川で泳ごう!
川で泳ぐことが初めての子もいましたが、みんな川遊びを思いっきり楽しみました。川は、最高の遊び場や!



◆新改川は本当にきれい?
「日本一きれいと言われる仁淀川と比べてみたい!」と、仁淀川と新改川で水質調査を行いました。すると、水質では劣らないことが判明!「やっぱり新改川はみんなの宝や!新改川を守りたい!」との思いが強くなりました。

5年生・6年生の学習へつなげます
山と川と海はつながっている。川を守るためには山や海のことを知らなくては!と、さらに探究心を持って学習に取り組んでいます!

自然がいっぱい! 新改保育園

自然がいっぱいの新改保育園。園庭には大きなセンダンの木があり、やさしい木陰を作ってくれています。今年は栽培活動にもたくさん取り組んで、園庭には、トマト・ミニトマト・ナス・ピーマン・キュウリ・枝豆・ネギ・ニラ・ニンジン・カボチャ・トウモロコシなど、子どもたちと植えた野菜がたくさん実りました。フウセンカズラやヒョウタンも…。また、地域の方からお借りした畑には、サツマイモ・オクラ・スイカを植え、収穫した野菜は給食の先生がおいしく料理してみんなのお昼ごはん…。「ナスが大きいゆっちゃん〜」「トマトがもう赤いで」「これもう取ってもいい?」と収穫に忙しい毎日。子どもたちは、恵まれた環境の中で季節の変化を感じたり、好奇心や探究心をもって考えたり、表現したり、自然の不思議さを感じたりしながら、様々な体験を積み重ねています。

